



# 図書館員が選ぶ この一冊

25

『センス・オブ・ワンダー』新潮社  
レイチェル・カーソン／著 上遠恵子／訳

レイチェルは幼い甥<sup>おい</sup>ロジャーを連れて、海岸や森など、自然の中へ出かけて行く。2人が、嵐の日も穏やかな日も、昼も夜もしたこの探検を、ロジャーの成長とともに生き生きと描く。そして、自然界で、音や光、匂いなどさまざまなものを楽しみ、感じる経験が、小さな子どもの成長過程に必要であることを知る。



『沈黙の春』がベストセラーになった後、本出版を考えた著者は、実現前に亡くなった。「センス・オブ・ワンダー」とは何なのか？ どうしたら持てるのか？ など、この作品を通して著者の最期のメッセージが私たちの心深くに届く。